

2020年のインフルエンザワクチンに関しまして

今般の新型コロナウイルスの流行などから、今年は多くのインフルエンザワクチン接種希望者が見込まれておりますが、今年度の供給量は約6300万人分が予定されており、ここ5年で最大ではあるものの、全員にいきわたるわけではありません。より多くの方にワクチンを接種してもらい、全体の感染率を下げることが、結果として、自分や家族、周りの方々が感染するリスクを下げることにつながると考えられます。

日本では、生後6か月以上から12歳までは2回ずつ接種することが推奨されていますが、WHO（世界保健機関）や米国では、生後6か月～8歳までが初めて接種する場合は2回ですが、翌年からは毎年1回の接種を続けるよう勧めています。

今年に関しては、少なくとも成人の方は原則1回接種を守って頂き、12歳以下の方も初めて受けられるお子さん以外は、できるだけ1回接種を行うことが、安定的な供給を推進するために大切なことだと考えております。

ただし、12歳以下ではじめて接種する方や、ご希望される方には、2回接種を行わせて頂きますので、お申し付けください。

これまでに例をみない大変な状況をのりきるために、みなさまのご理解とご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

医療法人雄久会 奥村病院
院長 奥村 雄外